

健康・環境等次世代型商品開発・販売促進支援事業【北海道】

事業概要

商品開発ノウハウをもつ民間企業等が健康・環境・国際をキーワードにした地域資源を活用した高付加価値商品(次世代型商品)に対して、感度の高い消費者ニーズと多様な技術シーズを踏まえた商品の改良支援を行うとともに、実際に流通ルートに乗せるためのコーディネートを実施し、次世代型商品の成功事例を蓄積する。

委託先

(財)北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)
(北海道札幌市)

事業費

平成21年度 約 1,195万円 (実績)
平成22年度 約 1,323万円 (計画)

雇用創出数

3人

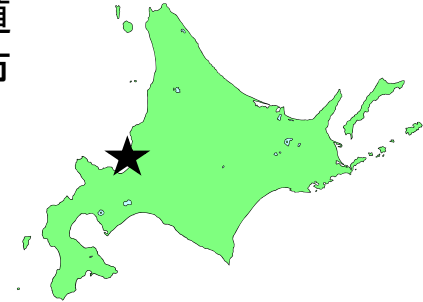
事業開始時期

平成21年9月

新規雇用者が従事する業務の内容

- 次世代型商品の掘り起こし、選定
- 商品化・販売促進に向けた支援
- 次世代商品の開発や販売促進のための事例集の作成

北海道
札幌市



地域の雇用失業情勢
(事業開始時の有効求人倍率)

北海道 0.38倍(季節調整値)
(札幌 0.36倍)



商品審査会風景

雇用創出効果以外の 事業実施効果

商品審査会のメンバーはバイヤーなどのプロ集団。商品1品1品を商品開発コンセプト、商品パッケージ、量目、味、価格等々消費者ニーズを捉えているかを審査いただき、商品改良やマーケティング戦略の検討に結び付けることができる。

委託先事業者の声

道内の魅力的な商品を、この事業を通してさらに良いもの改良するなどし、道内外に発信していきたい。

新規雇用者の声

食品の流通や販売促進事業に携わった経験を活かしつつ北海道の製造業の様々な課題そして要望を再認識することができ、今後の自己スキルアップに繋げていきたい。

事業の利用者の声

プロの目線での商品評価は今後の商品開発・改良に役立ちました。販路拡大に向けた支援(展示会への無償出品・小売店でのテスト販売等)は今後の販路拡大のきっかけになりました。

今後の事業展開

新規商品の発掘や、バイヤーなどによるプロ目線での商品審査、課題改善策の企業への提案を今後も継続して実施し、バイヤーの高い評価を受けた「次世代型商品」の商品改良・販売促進支援に取り組みたい。



スーパーマーケットトレードショーへの出展(H21)



次世代型商品テスト販売会

NPOよろず支援員派遣事業【秋田県】

事業概要

社会経済の急速な変化や個人の価値観が多様化する中、住民ニーズは多様化し、地域課題解決のためのNPO等の果たす役割は重要性を増している。これら状況を踏まえ、NPO等市民活動団体の情報発信能力向上(IT)、多様な地域課題解決に有効なコミュニティビジネスの普及(CB)、企業の社会貢献活動(CSR)の情報収集と企業とNPO等との協働促進のため、市民活動、IT及び経営等の知識を有する「NPOよろず支援員(IT、CB、CSRの各支援員)」を配置し、NPO等へのきめ細やかな支援を実施する。

秋田県



委託先

特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センター(大館市)・・・(県北地区)
 特定非営利活動法人あきたパートナーシップ(秋田市)・・・(中央地区)
 特定非営利活動法人秋田県南NPOセンター(横手市)・・・(県南地区)

事業費

平成21年度 約 1,516万円 (実績)
 平成22年度 約 3,009万円 (計画)

地域の雇用失業情勢

(事業開始時の有効求人倍率)

秋田県 0.29倍(季節調整値)

雇用創出数

9人

事業開始時期

平成21年6月

新規雇用者が従事する業務の内容

- IT支援員 要請を受けたNPO等の事務所等を直接訪問し、団体HPの作成等IT支援を行う。
- CB支援員 CBの立ち上げ・事業支援等を行う。併せてCBの普及啓発を行う。
- CSR支援員 企業を訪問し、企業の社会貢献活動情報を収集・提供する等、企業とNPO等との市民活動の協働を促進するための活動を行う。

雇用創出効果以外の事業実施効果

NPO等 市民活動団体の情報発信能力向上、多様な地域課題解決に有効なコミュニティビジネス(CB)の普及、企業(の社会貢献活動)とNPO等との協働の促進など

よろず支援員は
秋田のために
まだまだ頑張るぞ！！



委託先業者の声

IT、CB、CSR各支援員が、NPOや企業に入り込んで具体的な支援活動を展開しています。情報を集め、相談に乗り、助言し、つないでいく。そのためには常にスキルアップが必要ですが一番大切なのは熱意かも(よろず支援員 高橋チーフマネージャー)。

新規雇用者の声



地域の課題解決のために頑張っているNPO活動の情報公開を支援しています。(さとうさん)

あきたパートナーシップの各支援員



秋田県の中央地区で活動中の市民団体やNPOのIT支援をしています!よろしくお願いします!(こだまさん)IT)

いくらかでも、皆さんのお役にたてるように頑張ります。(いのうえさん)(CB)

企業と県民がCSRを通じてWIN-WINの関係が構築出来るよう全力を尽くします!(ふじわらさん)(CSR)



企業と市民団体との数多くの協働成果を目指して頑張ります。(はざわさん)



CB支援をしながら、元気な地域づくりを応援するのが自分の役目と考えています。(やつしまさん)



地域の課題解決に向け、企業のCSR活動とNPOを結ぶ橋になりたいと日々頑張っています。(こまつださん)



団体の活動情報発信やコンピューターリテラシーが向上するよう頑張っています。(あだちさん)



人の繋がりや地域資源を大切にするCBを育てていきます。(あさりさん)



秋田県北NPO支援センター。左から、安達さん(IT)、羽澤さん(CSR)、浅利さん(CB)



秋田県南NPOセンター。左から、佐藤さん(IT)、小松田さん(CSR)、八嶋さん(CB)

事業の利用者の声

障がい者の自立支援方法を悩んでいた時に、CB支援員のAさんから何度も助言を受ける内に事業のカタチが見えてきました。様々な支援者とのつながりもでき、現在「チョコット手伝い隊」として高齢者などへの掃除、調理の手伝い、草取りなどを実施し、手作り品の販売なども行っています。(障がい者自立支援の会「ひまわりの会」)

今後の事業展開

この事業によって得たスキルと人脈を活用し、引き続き市民活動やCB、SB(ソーシャルビジネス)を志す人や団体に対して相談や助言などの支援活動をする中で、これら団体などの一層の活躍を期待します。

島原半島の水産資源の有効活用と地域活性化及び雇用の創出事業【長崎県】

事業概要

島原半島では多種多様な水産物が水揚げされているが県内の一部でしか流通しておらず生産者の所得は減少し、水産加工業を含め水産業全体が衰退している。そこで、低未利用魚（規格外のため利用されにくい）を活用して時代のニーズに合った加工品を開発する事で県内外主に首都圏に流通させ島原半島の知名度向上及びブランド化を図る。

委託先

島原海産物加工組合
(長崎県島原市)

事業費

平成21年度	119万円 (実績)
平成22年度	2,142万円 (計画)

雇用創出数

4人

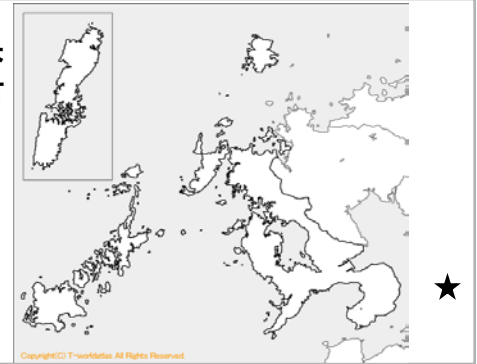
事業開始時期

平成21年10月

新規雇用者が従事する業務の内容

- 新たな水産加工品の研究開発
- 新商品のニーズ把握及び販路開拓

長崎県
島原市



地域の雇用失業情勢
(事業開始時の有効求人倍率)

長崎県 0.41倍 (季節調整値)



新商品として開発された
「島原ローストオイルサーディン」
(カタクチイワシ加工品)

雇用創出効果以外の 事業実施効果

- 低未利用魚の有効活用による高付加価値化、生産者の所得向上
- 島原半島の知名度向上による地域活性化
- 核となる商品の開発により受注が大幅に増加し既存施設では生産が追いつかず新たに機器をリースし増産に取り組んでいる。

委託先事業者の声

基金事業により、商品に成りえない低未利用魚に付加価値を付けて商品化するところまで至ることが出来た。事業最終年度まで、新商品開発及び販路開拓一本に専念できる。島原のブランド化商品に向けて道筋が出来た。

新規雇用者の声

島原から世界へ発信できるように、また健康志向派に向けて小魚をまるごと食べれるようにオリーブオイルを使い工夫しました。これからも地元の食材を活かしていきたいと考えています。ひとつ形になったことで今後の新たな水産加工品の研究開発に更なる期待を膨らませています。

事業の利用者の声

缶詰だとオイルだけの味になってしまいがちだが、提案された商品はフレッシュなので魚の味もしっかりして大変美味しい。オードブルとして使ってみたい。(福岡市内一流ホテル総料理長談)

今後の事業展開

新商品開発及び販路拡大により売上高3千万円を目標とし事業の継続と新たな雇用の確保を目指す。



カタクチイワシのオイル漬



新規雇用者4名作業風景